

13 す 巣わかれの時期がやってきた

初夏になって、じゅうぶんにハチの群れの勢いがつよくなると、女王が半数の働きバチや雄バチを引き連れて巣をでるんだ。これを分蜂というよ。分蜂した女王は、新しい巣づくりの場所さがしはじめるよ。のこった巣のほうでは、王台という、つり鐘状の特別な巣房から新女王が生まれてくるんだ。分蜂は、群が大きくなると自然におこなわれるけれど、養蜂の管理の中で、人工的におこなうこともあるよ。分蜂したら、1年目は群を大きくして、2年目からまた、ミツを採るんだよ。

自然分蜂したら

何千匹というハチが巣をとびだして上空を舞い、近くの木の枝にみんながよりかたまって玉のようになつてつかまるんだ。こうして新しい巣づくりをする場所を探し求めていくんだよ。分蜂が低い木の枝にかたまってとまったときに、その下に空き巣箱をおき、枝を切って枝ごと分蜂したハチの群れを巣箱のなかに入れよう。高い場所にはしごを使って木に登り、虫とり用の捕虫網を使ってとる。さらに高い場所では、8メートルの長い柄のついた捕虫網が売られているのでそれを使って採集しよう。

分蜂をおさえる

分蜂させたくないときは、王台が巣の下にできたら、とりのぞこう。そして巣礎を張った巣枠を入れて巣づくりさせたり、貯ミツ巣板をとりのぞいて空巣板を入れよう。分蜂は、ハチがいつぱいになるとおきやすいんだ。

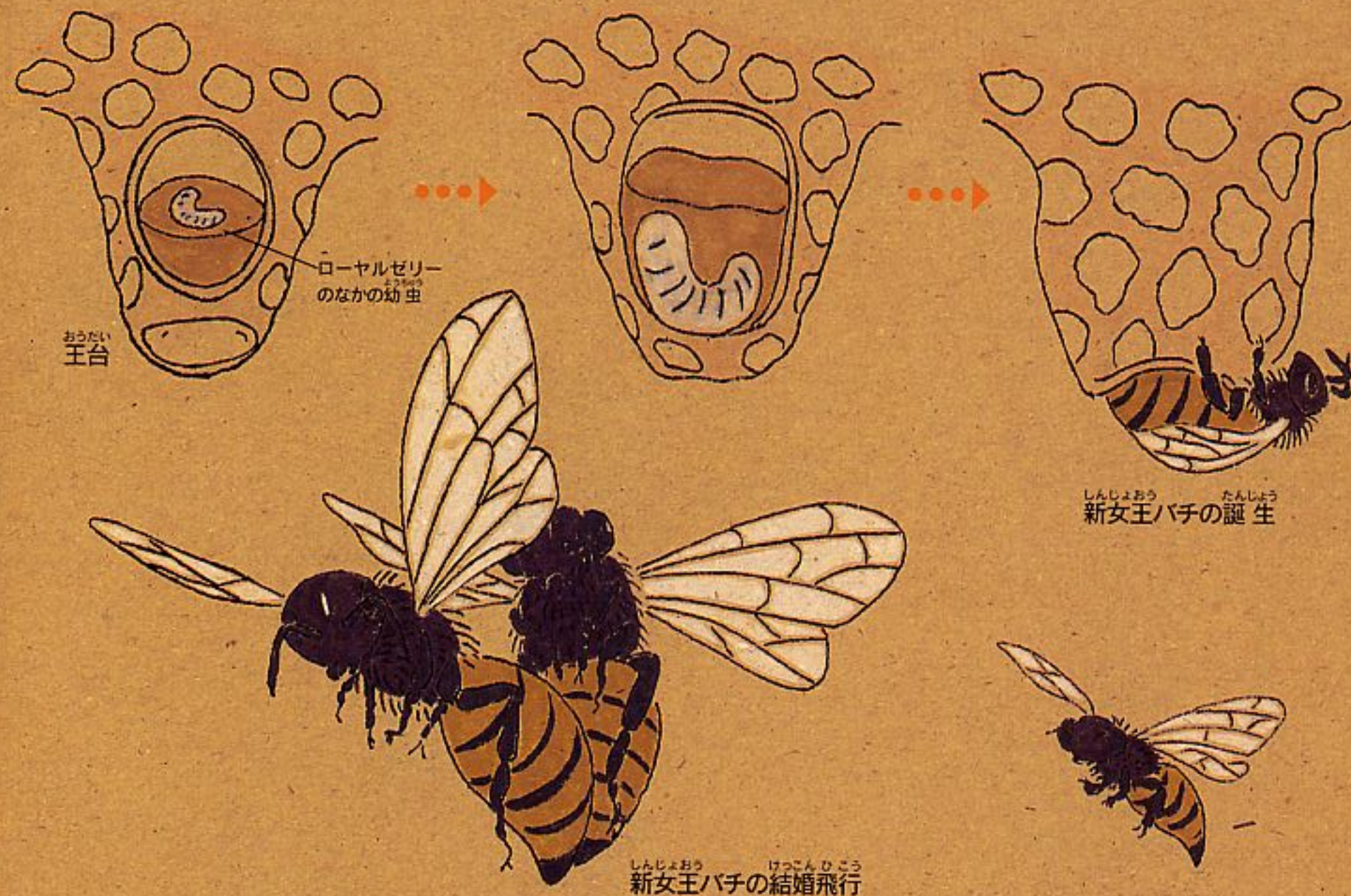
人工分蜂

人工分蜂させたいときは、王台ができた巣板と蜂見のいる巣板1枚にミツの入っている巣板2枚をハチのついたままのこしておき、女王バチとこのりの巣板のハチを新しい空巣箱に移動させるんだ。王台が何個もあるときは切りとって1個だけにする。元の巣箱にもどるハチが多いので、女王バチとともに移動するハチを多くして、移動した巣板に王台ができていないか確かめ、できたらとりのぞくこともだいじだ。元の巣箱では、新しい女王バチが羽化して、1週間ほどたつと交尾飛行にでかけるよ。



女王にするローヤルゼリー

卵の段階では、働きバチも女王バチも区別はないんだ。卵はどれも、女王バチにも働きバチにもなれる能力をもっているよ。でもふつうの巣房で、ほとんど花粉とハチミツだけで育てられた幼虫は働きバチになるんだ。それに対して、巣の下につくられる王台という特別な場所で、ローヤルゼリーをたっぷりもらって育てられると、ホルモンのバランスが変わって、幼虫は大きく育ち、からだの大きな女王バチに育つんだね。



1回の交尾で一生の間に100万個の卵が生める

新女王は羽化すると、やがて交尾飛行に飛んでいくんだ。近くのオスバチが集まる空間にいて、10匹ほどのオスバチと交尾し、500万~800万の精子を受けとってからだの中に貯めておくんだよ。そして、巣に帰り、2~3日すると卵を産みはじめるんだ。